

資料 No.4

平成16年度9月補正予算

予算編成過程への県民参加について

福 井 県

予算編成への県民参加の結果について

募集期間 平成16年8月26日(木)～9月1日(水)

元気宣言の 項 目	ご意見を 求めた 事業数	寄せられたご意見	
		件 数	主 な 事 業 項 目(いただいた意見数)
元気な産業	1	1	全国鳥獣害のない里づくりシンポジウム開催事業(1)
元気な社会	1	1	病児デイケア施設整備事業(1)
元気な県政	9	20	災害ボランティア全国フォーラム開催事業(3) 災害ボランティア活動推進事業(5) 災害ボランティア活動促進懇話会(仮称)開催事業(1) 東アジア観光客誘致促進事業(1) 小松空港観光情報発信強化事業(1) ふくいブランド発信事業(2) 「ふくいは元気です」イメージ発信事業(1) 衛星携帯電話整備事業(1) 「身近な知能犯罪」抑止事業(5)
合 計	11	22	

ここで発表したご意見とそれに対するコメントは、今回の9月補正予算編成で反映したものをご紹介しています。

同趣旨のご意見等を複数いただいたものにつきましては、事業ごとに一つの要旨に集約させていただきました。

皆さまからいただいたご意見はすべて関係部局に伝達し、今回の予算編成では対応できなくとも、今後の事業計画等において考慮するよう指示しました。

県民参加の対象事業

意見募集の対象事業のうち、9月補正予算案に反映したものを紹介します。

項 目	鳥獣被害対策の強化
事業名(担当部局)	全国鳥獣害のない里づくりシンポジウム開催事業(農林水産部)
予算計上額	1,000千円
ご意見(要旨)	シンポジウム開催により福井県の鳥獣害対策の取組みを全国に紹介するのは結構なことだが、一過性のもので終わらないように、シンポジウムの成果が実際の取組みにどう活かされていったかをフォローしていく必要がある。
知事からのコメント	<p>本県では、本年度から、地域ぐるみで鳥獣被害に立ち向かう「鳥獣害のない里づくり」を全国に先駆けて推進しており、電気柵や檻の共同管理、獣害防止に向けた若狭牛の放牧実験などに、地元住民と一体となって取り組んでいます。</p> <p>ご意見のとおり、このシンポジウムでは、これら本県の鳥獣被害対策を全国に紹介することはもとより、こうした取組みが一過性のもので終わらないように、他県との情報交換等を通して得られた成果を、「鳥獣害のない里づくり推進事業」の取組みの中で活用していくこととします。</p> <p>また、これらの取組みについて、毎年度、農作物の被害状況の把握等を通じて事業評価を実施し、実際の取組みにどう活かされていったかをフォローしていきます。</p>

項 目	「病児デイケア」を全市に配置
事業名(担当部局)	病児デイケア施設整備事業(福祉環境部)
予算計上額	2,970千円
ご意見(要旨)	福井県のよさは、長い人生を考えて、本当に住みよいと思う、福祉の手厚い県であることだと考えるが、その意味で、こうした事業は福井県の特長をよく捉えたものであり、全市の設置に向けてがんばってほしい。
知事からのコメント	<p>「元気な社会」を実現するためには、子育てと、仕事等の自己実現のための活動とが両立できる環境づくりが不可欠です。</p> <p>この事業は、こうした環境づくりの一環として、児童が病気で自宅での保育を余儀なくされる期間、その子どもを預かるデイサービスを行う「病児デイケア」施設を整備するものですが、全市に設置することは、「福井元気宣言」でお約束したことであり、ご意見のとおり、実現に向けて努力していきます。</p>

項 目	NPOや地域コミュニティとの協働
事業名(担当部局)	災害ボランティア全国フォーラム開催事業(県民生活部)
予算計上額	5,000千円
ご意見(要旨)	<p>フォーラムでの議論やボランティアの活動報告書の内容は、各地域での災害対応を検証し、積み上げた結果を踏まえたものにしてほしい。</p> <p>また、活動報告書の配布の方法については、印刷物のみならず、インターネットでの配信も含めてほしい。</p>
知事からのコメント	<p>フォーラムのパネリストには、各地域のボランティアにも参加していただく予定であり、地域別の取組みも踏まえた議論にする予定です。</p> <p>また、県内外の関係者や団体には報告書を作成して配布する予定ですが、ご意見のとおり、その内容については、地域のボランティアセンター毎に活動成果をとりまとめてもらい、集約して含めることにします。</p> <p>さらに、インターネットが普及しつつある今日の状況を考えれば、ITを活用して普及を図ることも大切であり、ご意見のとおり、報告書は県ホームページで閲覧可能にしたり、ご要望に応じてメール等で配信することも予定しています。</p>

項 目	NPOや地域コミュニティとの協働
事業名(担当部局)	災害ボランティア活動推進事業(県民生活部)
予算計上額	343千円 1,215千円
ご意見(要旨)	<p>ボランティア志願者の多くは、意欲はあっても基本的な知識やノウハウのない人が多いため、一般の人を対象とした基本的なことを学んでもらう研修の方がより必要。ボランティアリーダーの研修は、地元のリーダー育成より、全国のリーダーに本県の取組み成果を学んで共有してもらおう形の方がよい。</p>
知事からのコメント	<p>この事業は、ボランティアを対象にした災害ボランティアリーダー研修会を開催し、リーダーの育成を図ることをねらいとしたものです。</p> <p>ご意見のとおり、地域における災害ボランティア活動をスムーズに行うためには、一般の人にボランティアとしての基本的な知識やノウハウを学んでもらうことが重要です。</p> <p>このため、災害ボランティアブロック別研修会については、一般のボランティア参加者、行政、関係団体等を対象にしたものとし、災害時のボランティア活動についての理解や相互の連携強化を図ることにしました。</p> <p>これに加えて、全国のボランティアを対象とした「災害ボランティアリーダー塾」を実施し、全国に向けて災害ボランティア活動「福井方式」の成果を紹介することにしました。</p>

項 目	NPOや地域コミュニティとの協働
事業名(担当部局)	災害ボランティア活動促進懇話会(仮称)開催事業(県民生活部)
予算計上額	576千円
ご意見(要旨)	災害ボランティアの活動促進のために条例などを制定して、活動を支援していくのはよいことだが、ボランティア活動は、一人ひとりの小さな積み重ねで成り立っているものだから、支援の中身を考える際には、学識のある人だけでなく、一般の人の意見もしっかり聴くようにしてほしい。
知事からのコメント	嶺北および嶺南地域においてそれぞれ県民から意見を聴く会を開催し、そこで実際に災害ボランティア活動を行っている人や団体の方々と十分な意見交換をしたいと考えています。 また、条例の制定に際しては、懇話会でまとまった案をパブリックコメントにかけ、その内容について広く一般の人からご意見を伺う予定です。

項 目	夢あるふるさとづくり
事業名(担当部局)	東アジア観光客誘致促進事業(産業労働部)
予算計上額	7,372千円
ご意見(要旨)	浙江省の観光客が福井県に多数来県することは、浙江省の旅行業者にとっても利益になるはずであり、福井県と浙江省とが友好提携しているというのであれば、事業の実施に当たっては、浙江省にも協力してもらおうべきではないか。
知事からのコメント	この事業は、浙江省等の旅行業者が、福井県への観光旅行ルートをつくり、本県への送客を実現したときに助成するものです。 中国は人口約13億人、このうち浙江省は人口約4600万人という巨大な市場であることから、日本の各地方自治体が積極的に観光客誘致に取り組んでいる状況であり、国内での地域間競争も激しくなっています。 この事業により国内での地域間競争を勝ち抜き、上海市、浙江省などから福井県への中国人観光客誘致の道筋をつくり、更なる中国人観光客誘致につなげていくことは、本県の観光振興にとっても重要なことです。 そこで、ご意見のとおり、これまでの友好交流で培ったつながりを活かして、浙江省とも協力しながら、同省や上海市の旅行業者への売込み、福井県の情報発信などを行っていきます。

項 目	夢あるふるさとづくり
事業名(担当部局)	小松空港観光情報発信強化事業(産業労働部)
予算計上額	1,084千円
ご意見(要旨)	小松空港への交通アクセスをよくし、県民が使うのに便利にしてほしい。また、小松空港を福井の空港として使っていくのはよいことだが、そのことを全国や海外にも広めてほしい。今回の福井県観光紹介コーナー設置のようにいろいろなやり方で福井県をどんどんPRしてほしい。
知事からのコメント	<p>県は、小松空港から本県へ向かう県民や観光客の利便性の向上を図るため、石川県に働きかけた結果、空港内の道路標識に福井方面の案内が表示されました。</p> <p>また、小松空港を本県の観光やPRの拠点として活用するため、空港内に本県物産品の販売スペースを確保するとともに、JALやANAに働きかけ、時刻表の小松空港の表記を「小松(金沢・福井)」に変更してもらいました。</p> <p>さらに、交通アクセスの一層の向上を図るため、アンケート調査等により利用者ニーズを把握するとともに、空港連絡バスを利用したパークアンドライドなどを検討しています。</p> <p>今回の観光紹介コーナー設置のほか、今後さらに、石川県と連携し小松空港を活用した広域観光ルートの開発や国内外(中国上海など)から本県への観光客誘致に取り組んでいきます。</p>

項 目	夢あるふるさとづくり
事業名(担当部局)	ふくいブランド発信事業(総務部)
予算計上額	5,000千円
ご意見(要旨)	豪雨災害や美浜原発事故を受けて何らかのイメージアップ対策をするのは必要だと思うが、日頃から福井県のよいところをPRする努力が必要であり、福井県ならではの独創的な試みを考えてはどうか。
知事からのコメント	<p>県では、男女とも平均寿命が全国第2位という長寿県であることから、「健康・長寿」を本県のブランドとして、様々な媒体により全国に積極的にアピールしているところです。</p> <p>また、本県の様々な地域資源を住民の知恵を活かして県内外の住民・消費者に強くアピールする「地域ブランドの創造」に全国に先駆けて取り組んでおり、今年度の補助事業では県内全域から多くの募集をいただき、2件を採択して支援を行っています。</p> <p>この他、県では、県民一人ひとりがアマチュアのセールスマンとなって、県外におけるイメージアップ活動を展開していただく「ふくいブランド大使」制度を推進しているほか、今年が国際コメ年にあたるのに合わせ、コシヒカリをテーマに一族大集合イベントやフォーラムを開催し、「コシヒカリのふるさと」を全国に向けてアピールしています。</p> <p>今後とも、ご意見のとおり、福井ならではの 방법으로福井県の良さを効果的に全国へアピールしていきたいと考えています。</p>

項 目	夢あるふるさとづくり
事業名(担当部局)	「ふくい元気です」イメージ発信事業(総務部)
予算計上額	2,841千円 2,907千円
ご意見(要旨)	<p>ボランティアはあくまで無償の奉仕だが、お礼状はぜひ出してほしい。</p> <p>また、県外からの災害ボランティアに出すお礼状は、福井の「元気」を示すとともに、伝統産業のPRも込めて、越前和紙を用いて作成してはどうか。</p>
知事からのコメント	<p>この事業は、県外からの災害ボランティアや全国のマスコミ等にお礼状を送り、今回の豪雨災害対策でご協力いただいたことに対する謝意を伝達するとともに、本県の元気の回復をアピールするものです。</p> <p>大きな被害を受けた越前和紙産業を含め、本県が豪雨被害から立ち直り、元気を回復したことをアピールするとともに、本県の伝統産業をPRするという工夫は効果的であり、ご意見を踏まえ、越前和紙をお礼状に用いることにしました。</p>

項 目	安全・安心な県民生活の実現
事業名(担当部局)	衛星携帯電話整備事業(県民生活部)
予算計上額	12,573千円
ご意見(要旨)	<p>備品購入後のメンテナンスや動作試験を定期的に行い、いざという時に使えるようにしておいてほしい。</p> <p>また、機器が時代遅れになったら潔く切り替えることも必要だし、改修の際に不都合が生じないように、独自の機能を発注仕様に盛り込んだりしないようにするなどの配慮をすべき。</p>
知事からのコメント	<p>この事業は、今回の豪雨災害のような災害時に、通常の通信が遮断した場合などに対応するため、衛星携帯電話を導入するものです。</p> <p>ご意見のとおり、孤立した集落等、被災した市町村において有効に活用できるよう、通信訓練の実施などにより、日頃から使用することを市町村等に要請したいと考えています。</p> <p>なお、購入予定の機器については一般に市販されている機種を予定しています。</p>

項 目	安全・安心な県民生活の実現
事業名(担当部局)	「身近な知能犯罪」抑止事業(警察本部・県民生活部)
予算計上額	5,619千円
ご意見(要旨)	インターネットを悪用した犯罪は詐欺だけでなく、悪質な誹謗中傷や犯罪の予告のようなものもある。資機材を購入するからには、こうしたネットの悪用の取締りにも対応してほしい。
知事からのコメント	<p>この事業は、急増している「身近な知能犯罪」の抑止と検挙を目的にしていますが、今回整備する解析用資機材は、あらゆるサイバー犯罪に対応できるものです。</p> <p>したがって、ご意見にもありました掲示板への違法な書き込みをはじめ、不正アクセスや出会い系サイトにおける児童売春など、「身近な知能犯罪」以外のインターネット上で行われる違法行為にも必要に応じてこれらの機器を活用しながら厳正に対処していく予定です。</p> <p>また、最終的な目的は犯罪の発生自体を抑止することであり、犯罪の取締りのみならず、トラブル防止に資するインターネット上でのマナーや知識を周知するための広報啓発活動にも積極的に取り組んでいく予定です。</p>

項 目	安全・安心な県民生活の実現
事業名(担当部局)	「身近な知能犯罪」抑止事業(警察本部・県民生活部)
予算計上額	5,619千円
ご意見(要旨)	インターネット・オークション詐欺については、モラルの面での後ろめたさから泣き寝入りする潜在的被害者も多いはず。そうした被害者を掘り起こして気軽に相談できるようにする工夫も必要ではないか。
知事からのコメント	<p>県消費生活センターが相談窓口となって被害防止を図るとともに、警察本部および各警察署に警察安全相談窓口を設けていますが、いずれも相談者や相談内容などについては秘密を厳守しています。</p> <p>しかし、ご意見のとおり、インターネット・オークションでの詐欺事案では、被害に遭われた方が、羞恥心などから被害を申告しないケースも多くあると考えられます。</p> <p>このため、ご意見のとおり、県消費生活センター等に気軽に相談に来ていただけるように、本事業で製作する広報啓発ビデオをはじめホームページなどで、分かりやすい表現で広報するとともに、潜在している被害者の掘り起こしにも積極的に取り組んでいきます。</p>

項 目	安全・安心な県民生活の実現
事業名(担当部局)	「身近な知能犯罪」抑止事業(警察本部・県民生活部)
予算計上額	5,619千円
ご意見(要旨)	解析用のコンピューター資機材の購入について、個人のプライバシーの問題と抵触するようなことはないか、警察の認識を問いたい。
知事からのコメント	今回の事業で整備する資機材は、裁判官の令状等に基づき差し押さえたパソコンの保存データ等をコピー・解析するために用いるものです。 県警察では、サイバー犯罪捜査などにおいても、ご意見のように、知らないうちに個人のパソコン上のデータや、やり取りの記録を盗むなど、不法に個人のプライバシーを侵害しないよう、法令に基づき適正な職務執行に努めていくとのことです。

なお、上掲のご意見のほかに、下記のような歓迎、激励等のコメントもいただいておりますので、ご紹介します。

- ・「災害ボランティア全国フォーラム開催事業」について、最近、福井は豪雨のような悪いことが多いが、悪いことの中から、福井はこんなに進んでいると言えるのはいいことだと思う。
- ・「災害ボランティア活動推進事業」について、ボランティアのリーダーはしっかりした人でないと務まらないので、研修でしっかり育ててください。
- ・「ふくいブランド発信事業」について、ポスターの掲出にコンビニを使うのはすごくいい方法だと思う。